

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 27 年 1 月 29 日 (2015.1.29)

【公開番号】特開 2012-125761 (P2012-125761A)

【公開日】平成 24 年 7 月 5 日 (2012.7.5)

【年通号数】公開・登録公報 2012-026

【出願番号】特願 2011-268376 (P2011-268376)

【国際特許分類】

B 0 1 D 61/44 (2006.01)

C 2 5 B 1/00 (2006.01)

C 0 2 F 1/469 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 61/44 5 0 0

C 2 5 B 1/00 Z

B 0 1 D 61/44 5 1 0

C 0 2 F 1/46 1 0 3

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 5 日 (2014.12.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電気透析装置を用いて、ガスを生成するプロセスであって、

電気透析スタックを囲む筐体を定義するように密封して接続された 2 つの軸支持メンバを備える前記電気透析装置へ、少なくとも第 1 溶液および第 2 溶液を流入させるステップと、

前記電気透析装置へ電極溶液を流入させるステップと、

前記電気透析装置をスタック圧力で加圧するステップと、

前記第 2 溶液内に溶解ガスが発生するように、前記電気透析装置の電気透析スタックへ電圧を加えるステップと、

前記電気透析装置から前記第 2 溶液を流出させるステップと、

前記第 2 溶液から前記ガスを再生するステップと、

前記ガスを収集するステップと、

を含む、プロセス。

【請求項 2】

前記スタック圧力は、周囲圧力よりも大きい、請求項 1 に記載のプロセス。

【請求項 3】

電気透析装置を用いて、入力溶液から生成物を発生させるプロセスであって、

電気透析スタックを囲む筐体を定義するように密封して接続された 2 つの軸支持メンバを備える前記電気透析装置へ、少なくとも第 1 溶液および第 2 溶液を流入させるステップと、

前記電気透析装置へ電極溶液を流入させるステップと、

前記電気透析装置の温度および圧力を調整するステップであって、該温度および圧力は、前記第 2 溶液から前記生成物が発生するように選択される、調整するステップと、

前記第 2 溶液内に前記生成物が発生するように、前記電気透析装置の電気透析スタック

へ電圧を加えるステップと、
前記電気透析装置から前記第 2 溶液を流出させるステップと、
前記第 2 溶液から前記生成物を再生するステップと、
を含む、プロセス。

【請求項 4】

前記温度および前記圧力は、前記生成物が、ガス、液体、および超臨界流体のうちの 1 つ以上を含むように選択される、請求項 3 に記載のプロセス。